

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)				曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1, 3)		リスクの判定 ^(注1, 4)	総合的な判定 ^(注1, 4, 5)	過去の公表 ^(注6)
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)	動物	影響評価指標(エンドポイント)	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度					
12	ニトロメタン [75-52-5]	経口	無毒性量等 ^(注7) — mg/kg/day	—	—	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	(○) ^(注8, 10)	—
		吸入	無毒性量等 ^(注7) 0.42 mg/m ³	マウス	腎臓相対重量の増加、呼吸上皮の硝子滴沈着	地下水	— μg/kg/day	MOE	—	×		
						一般環境大気	0.12 μg/m ³	MOE	70	▲		
室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×								
13	m-フェニレンジアミン [108-45-2]	経口	無毒性量等 ^(注7) 2.2 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
		吸入	無毒性量等 ^(注7) — mg/m ³	—	—	淡水	< 0.0004 μg/kg/day	MOE	> 550,000	○		
						一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×								
14	4-tert-ブチルフェノール [98-54-4]	経口	無毒性量等 ^(注7) 7 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、副腎・卵巣重量の減少、肝臓重量の増加	飲料水	— μg/kg/day	MOE	—	×	○	—
		吸入	無毒性量等 ^(注7) — mg/m ³	—	—	淡水	0.0044 μg/kg/day	MOE	160,000	○		
						一般環境大気	— μg/m ³	MOE	—	×		
室内空気	— μg/m ³	MOE	—	×								

(注1) —：リスク評価の指標が設定できなかった、あるいは予測最大曝露量・濃度が設定できなかった場合、MOE・過剰発生率(がん)の算出ができなかった場合。 (—)：評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合。

(注2) リスク評価の指標：本評価は基本的に安全サイドに立ったスクリーニングとして実施していること、情報の質、量は化学物質により大きく異なることから、化学物質間の相対的な毒性強度を比較するような場合等には、この数値を単純に使用するのではなく、更なる詳細な検討を行うことが必要。

(注3) MOE：無毒性量等を予測最大曝露量、あるいは予測最大曝露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。また、無毒性量等を発がん性から設定した場合には原則10で除して算出する。

(注4) ○：現時点では作業は必要ない、▲：情報収集に努める必要がある、■：詳細な評価を行う候補、×：現時点ではリスクの判定はできない。

(注5) リスク評価の指標が設定できない場合や曝露情報が把握されていないためにMOE・過剰発生率(がん)の算出ができず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。

(○)：情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、(▲)：情報収集等を行う必要があると考えられる、(■)：詳細評価を行う候補と考えられる。

(注6) 再評価物質については、過去において第何次のとりまとめで公表したかを示す。

(注7) 無毒性量等：長期間の連続曝露に補正したNOAEL又はNOAEL相当(LOAELを10で除した場合等)の値。

(注8) 予測最大曝露量が得られなかった物質：過去の曝露量、限られた地域の曝露量、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、生産量などを考慮した。

(注9) 予測最大曝露濃度が得られなかった物質：過去の曝露濃度、限られた地域の曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、大気中での半減期、生産量及び物性などを考慮した。

(注10) 経口曝露又は吸入曝露の無毒性量等、スロープファクター、ユニットリスクが設定できなかった物質：曝露経路間の換算により算出した値を考慮した。

(注11) 経口曝露又は吸入曝露の無毒性量等、スロープファクター、ユニットリスクが設定できなかった物質：無毒性量等、スロープファクター、ユニットリスクを仮定して試算した値を考慮した。

(注12) 実測値によるリスクの判定はできたが、総合的な判定として、過去の曝露量や曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果を考慮した。